



陵水海外体験記

経済学部四回生 三津間 楓

海外渡航企画までの経緯

将来はグローバルに挑戦できる仕事に就き、ビジネスを通して日本と諸外国の友好関係を強化する。この夢を達成するために、実際のビジネスの現場で通用する英語力と、どんな環境でも力を発揮できる異文化適応能力を身に付けるため、1年間の海外研修を計画しました。

大学3年次から資金を貯めつつ、民間企業の給付型奨学生に選ばれることで、渡航費用を自力で確保しました。

その後、ビジネスの現場で使える実践的な英語を学ぶための語学留学とスリランカでの営業のインターンシップに挑戦しました。

現地での体験

留学先では、朝から晩までびっしりと組まれたカリキュラムと寸暇を惜しんで取り組んだ自主学习により、語学力の土台を徹底的に鍛えました。

当初は、グループディスカッションのクラスや友人との会話の中でとっさに英文が出てこず、自分のレベルの低さを痛感しました。しかし、思い浮かばなかったフレーズをノートに書き留めたり、スピーキングに特化した教材を授業外の時間にやりこむことで、着実にレベルアップを果たし、授業での討論を盛り上げる存在になりました。この時の経験が、後の営業のインターンシップでも大きな武器となりました。

その後、スリランカで広告営業のインターンシップに挑戦しました。現地企業を相手に、電話やメールでのアポ取り、商談や飛び込み営業などの仕事を担いました。炎天下、やっとの思いで辿り着いた営業先で門前払いされる日々が続きました。また、市内の企業には過去のインターンシップ生がすでに営業で訪れていることもあり、契約を獲得することは困



フィリピンの語学学校のクラスメートと



国内シェアNo.1の航空会社と契約締結！

4か月間これらの試行錯誤を繰り返した結果、過去71人のインターンシップ生の中で歴代1位の売上金額を達成しました。人のスピーリー

難でした。さらに同年4月に発生したテロの影響から、業績が悪化しているために予算がないと言われるなど、数々の壁にぶつかり心が折れそうになることもありました。

しかし「ここで諦めたら将来の夢も諦めることになる」と自らを奮い立たせ、1から対策を練り直しました。独自の方法を取り入れるために、シンハラ語で会話をしたり、南アジアの伝統衣装サリーを着て営業に出向きました。また、新規開拓のためにバスで片道4時間半かけて遠方に出向くこともありました。さらに、5つ星ホテルや国内シェアナンバーワン



サリーを着て営業に挑戦

海外体験を終えて

今回の海外体験では、貧困やインフラ不足などのさまざまな社会問題を抱える途上国の現状を知り、途上国で生活することの過酷さを経験しました。また、海外で仕事をすることの大変さを学び、自分の頭で対策を徹底して考え抜くことを通して、海外の現場でも発揮できる課題解決力を身につけることができました。

この経験を糧に、将来は海外で活躍し、日本と世界の経済成長に貢献できる仕事をしたいと考えています。